

令和4年度(令和3年度実績)基本目標\_懇談会委員評価 ※評価委員16人(コメントなしの場合あり)

基本目標1	評価委員数	基本目標2	評価委員数	基本目標3	評価委員数	基本目標4	評価委員数
地方創生に非常に効果的であった	0	地方創生に非常に効果的であった	2	地方創生に非常に効果的であった	1	地方創生に非常に効果的であった	0
地方創生に相当程度効果があった	9	地方創生に相当程度効果があった	10	地方創生に相当程度効果があった	5	地方創生に相当程度効果があった	1
地方創生に効果があった	7	地方創生に効果があった	3	地方創生に効果があった	10	地方創生に効果があった	12
地方創生に対して効果がなかった	0	地方創生に対して効果がなかった	1	地方創生に対して効果がなかった	0	地方創生に対して効果がなかった	3

基本目標1	基本目標2	基本目標3	基本目標4
全般的に政策努力が成果となって現われつつある。なお一層推進に努力されたい	コロナ禍がマイナスに働いた側面とプラスに働いた側面とがKPIに混在するが、全体として健闘している。	コロナ禍にも関わらず達成状況が全般的に高いレベルを示している。出生数は外国人に依存している側面がみられるため、日本人と同様に手厚い子育て支援策が望まれる。	生活路線バス利用者の増加など成果がみられるが、まちづくり連携体制の推進など。協定相手への働きかけが奏功している分野もあり、一層の政策推進が望まれる。中心市街地の人口割合については、目標設定を下げる必要があるのでは。
未達成の部分はR1台風やコロナ禍の影響もあり仕方ないと考えるのか。ただ原因はそれだけではない要素もあるかと思うのでしっかりと検証が必要。支える人材を育てる部分の目標達成は評価します。	移住相談件数が160%増で将来の移住者増が望める。	女性の事業主の数の増加が大変評価できる。	時代にあった地域を作るのであれば、適宜具体的施策を見直した方がよい。先行きが不透明で、将来の予測が困難な時代です。
農業産出額のKPIの設定について、災害やコロナ禍を受けた実績値との差が大きく、農業就業人口が右肩下がりなのに、数値を右肩上がりに設定しており、目標の正確性についていかがなものか。		子育ての不安を解消する施策を立案、実行してほしい。	市の意向についての市民への周知が足りない(例えば、デマンド交通の広報等)。
高等学校における人材育成については、市が募集したまちづくり等に関する事業(例えば佐野SAのスタンプ作成)もある。そうした事業に個人レベルでの参加者もカウントしてよいのではないのか。実際にはもっと多くの生徒が参加しているのではないかと思います。	移住者受け入れ態勢が整備されてきた点は大いに評価できる。	子育てへの負担や不安を感じている市民の割合については、大いに対策を検討していただきたい。	持続可能なまちづくりの推進については、今後の将来を担う児童・生徒への働きかけが大きいのと思う。各学校におけるSDGsの検討状況についても補助的な数値とし、考えてもいいのではないのか。ハザードマップの改正についてはとてもよかった。
一部資料の単位が分からないものがあり、誰にでもわかるような資料作りをお願いしたい。	佐野市の魅力をもっとPRすべき。	女性の社会進出が増える中、子育てをするお母さんが働きやすい環境づくりの方策として、こどもクラブの時間延長を検討していただきたい。	
数字に時差があり判断が難しい。創業件数が前年実績値で減少、目標値も未達の状態となっている。何が原因なのか分析を行い、効果的な施策を立てて実施していく必要があるのではないのか。各具体的施策について、「主な取組」「主な成果」「R4における取組方針」の内容だけで、取り組み実態を判断することは難しい。PDCAの概念を導入して、PDCAサイクルを進めることを提案したい。それによってプロセスのチェックができ振り返りも容易になる。	転入者数が前年実績値で減少、目標値も未達である。テレワーク増加などの環境変化もあるか。R6年の社会動態の人口増減数600人に黄色信号が点滅しているのではないのか。若者移住・定住促進事業における奨励金制度は都市間競争において競争力のある内容か。Uターンに関して、より具体的な方策を検討し、実行願いたい。	コロナ禍の中、出生数が前年実績値を上回ったことは評価したい(うちわけで外国人の数・割合も知りたいところである)。中小企業でも今年度から女性活躍推進法の行動計画の策定が義務化された。このタイミングを活用願いたい。	コロナ禍の中、市民が集まってワイワイガヤガヤ楽しむことのできるイベントが中止となっていることが大きな要因ではないかと思料する。市民が寄り添うようなイベントを企画実行してもらいたい。
台風やコロナなど、想定外のことがあった割には成果を出せたと思う。	コロナで実績にはマイナスの影響があったと思うが、◎項目は秀でた実績を上げており、大いに成果を得られたと考える。	一定の効果はあったと思うが、具体的な取組内容が分かりづらく、今後の改善に活かしづらい。	全体的に実績が低調。数値目標に掲げる項目に対し、KPIがマッチしているのかやや疑問。
数値目標は達成しているが、実績値への成果が分かりにくい。	移住相談件数を移住者へ繋げる施策、検証が必要である。	効果はあったと思うが十分ではないので、より効果の高い施策をお願いしたい。	コロナにより達成度は低い、取組としては前進できている。
評価の基準がよくわからない部分もあった。人材の育成については、人数よりも内容に注目したい。	さのまる人気の凄さを改めて知った。今後も佐野の大きな武器として上手に使ってほしい。移住者受け入れの取組も、今後大いに期待したい。ふるさと納税についても評価したい。	二人の意見にもあったように、この問題は数字だけでは判断が難しい。	今後の取組に注目したい。
資格試験助成事業が今年度からスタートした。市内の生徒・学生の職業能力向上が、就職機会の拡大を目的として、受験料を負担する事業。全額助成は全国初めてのケースとして、注目を得ると思います。農業分野では、特産のイチゴは県全体の26%の生産量を誇る。カキナ、桃、イチジクなど佐野市が誇る農産物の振興と後継者の育成への支援を望む。	新しい人の流れやUターンが芳しくないのはなんともいっても東京の一極集中の是正しかない。主要企業の地方への転出制度の強化が必要であると思う。	合計特殊出生率の向上を目指すには女性の意見(声)を多く求めることが重要である。女性が佐野に住んでよかったといえるまちづくりを。結婚から妊娠出産子育てを支援するための施策の充実。その一環として新しい世帯の家賃や敷金礼金、引っ越し費用など、新生活に係る費用の支援など、経済的支援や仕事と育児を両立させやすい、職場環境づくりなど、官民が強い危機感をもって方策を講じてほしい。保育料2子からの無料化は相当に効果が見込めると思う。	安心な暮らしについては個人差があり難しい(何をもって安心としているかつかんでほしい)。市民活動などはコロナ禍の影響により、やむを得ないと考える。から揚げやいもフライは誰もが興味があるものの一過性に思う。まちづくり連携体制の推進は市民に難しすぎる。
農業生産に台風の影響があったとみられるが、ある程度の成果が出ている。	ふるさと納税が大幅に伸びた点を1社でなく、多くの分野に反映できるような工夫がほしい。コロナ感染症の影響で、実際に訪れる観光客は減少している。移住の相談件数が増えたなら、それを相談から実際に移住してきた数に結び付けなくては意味がないので、結果につなげてほしい。	子育てに負担・不安を感じているその理由を重視する必要がある。アンケートを取るだけでは意味がない。	市民生活に結びつく効果が感じられない。SDGsなど、目に見える形にしていきたい。
コロナ禍により、人流・物流が滞った原因であれば仕方のないこと。	移住に関して相談件数が増えているのは知名度がある証と思う。引き続き情報発信してほしい。	概ねすべてにおいて徐々に良くなっていると思う。コロナ禍の影響が大きく、人が集まる機会が増える、気持ちが外に向かないと大きくは改善しないと感じる。	事業に参加する人が増え、楽しいと感じれば自然と満足度は上がると思う。
資料の数値について、口頭での説明が多く、読み取りにくい。農業産出額の説明が分かり悪かった。学生参加の例に佐野の大学を記載したほうが、地域活性化への力の入れ具合がわかりやすい。	若者移住について、奨励金制度はもちろん、住居手当等大学のために移住する学生には「負担が少ないようにしている」という制度をつくり、宣伝していくといいと思う。	「出会いの場」や「子育て」の支援があるが、佐野市のLGBTへの取組はあるのか。異性愛者への支援しかないのか気になった。	介護予防運動の講習なども行くと、高齢化が進んでいる中でも健康寿命の延伸が見込めるのではないかと思った。

基本目標1	基本目標2	基本目標3	基本目標4
<p>高等学校・大学等における人材育成は行っていることを知らなかったため、参加校を増やしてほしいと思った。</p> <p>創業件数はコロナ前では目標を上回っているため、ウズコロナ時代に伴い、増加が期待されると思った。</p> <p>出流原PAは立ち寄ったことがあるが、少し寂しい印象だったので、自販機やトイレだけでなく、軽食やお土産、小さな公園などが欲しいと感じた。</p>	<p>さのまるのツイッターについて、更新頻度も高く、フォロワーも多くてすごいと思ったがもっとグルメや場所、例えば地図やクーポンをつけて載せてほしいと思った。また、インスタをもう少し活用して、佐野のカフェや家族で楽しめる場所をまとめ、タグ付けしてたくさん紹介をしたりクーポンをつけたりするのはどうかと思った。さのまるもTikTokのアカウントを作るのもよいと思った。</p> <p>佐野のイオンやアウトレットに佐野の野菜やパン、お菓子、ケーキなどを売る地元密着のお店があればよいと思った。栃木グルメをまとめている人のインスタがあるので、市公式に作ってほしいと感じた。</p> <p>佐藤の会は誰でも入れるのか。わかりづらい。</p>	<p>子宝祝金は一律、同じ料金ではなく、世帯の経済状況に応じて変えるべきであると思っており、金銭的に厳しい家庭の不安も少し減ると思っている。</p> <p>さの女キャリアアップ講座の内容をもっと具体的に知りたいと思った。喫茶室と書いてあったので、飲食しないのかよくわからなかった。</p> <p>ひとり親世代や子育ての孤立化が社会問題になっているので、地域の人(子どもも大きく家を出ているような人)などともつながりを深めたり、「ゆめぼけっと」をもっと多くの人に認知してもらう必要があると思った。</p> <p>子育て親子の交流の場や気軽に相談できる場所をショッピングモールやスーパーと協力し設置してもよいのではないかと考えた。広報さんにお悩み相談コーナーがあってもいいのでは。</p>	<p>健康マイレージ事業について、以前HPで見たときは学生が対象年齢外であったが、景品がもらえるような仕組みであれば子どももやりたいと思う人がいると思った。</p> <p>令和元年東日本台風の被害が大きかったので、各世帯に防災無線を配ってほしいと思った。スマホがなければ避難状況が分からなかった。</p>

【懇談会中の発言】

<p>・人口ビジョンについて、設定した条件はどうなっているか？ →2035年以降1.89、2045年以降2.07を実現し達成していこうというもの。</p> <p>・国調と住基ベースの違いがあるがどういうことか。 →佐野市は住民票を移したものの、実際は住んでいる方が多いようで、そうした実態を含め把握するためにも、人口ビジョン改訂版【令和2年国勢調査反映版】で検証した。データに基づく施策を展開したい。</p> <p>・資料が分かりづらい。 →改善する。</p> <p>・人材育成について、高崎経済大学の学生が指標値に含まれているというが、この施策としては不適切では。 →佐野市を知り、佐野市に定住していただくという観点では不適切の面もあるが、移住の観点もありカウントの仕方を検討する。</p>	<p>・求人情報誌について、もっと具体的に就職活動につながるよう、効果的な情報発信等を行いUターン施策を強化してほしい。例えば就職活動開始時に求人情報誌を届けるような方法はとれないか。 →成人式などで配布している。所管課にお伝えする。</p> <p>佐野高校では地域貢献ということを考えている。地域における人材の育成が重要と考えている。その地域を知ることが必要だと考えている。 →本市でも同様に考えキャリア教育推進事業に取り組むなど、新たな事業を行っている。今後も協力していただきたい。</p> <p>・相談が移住に結び付いたのはどの程度あるか。受入体制の充実が必要。空き家の情報提供も有効だろう。住み始めるまでの支援も必要では。相談をしっかりと移住に結び付けてほしい。 →移住に結び付けられるよう取り組みたい。</p>	<p>・子育ての不安などをつかむ世帯の割合、といったものは何から取った指標か？ →市民アンケートの数値で、内容までは把握していない。子育て包括支援センターなど所管部で聞き取った相談についてはしっかり対応している。</p> <p>・◎○△の指標の評価がおかしい。 →これまでの経過を踏まえ同様に評価している。この評価にとらわれず、各委員に評価をしていただきたい。</p> <p>・子どもクラブの利用時間について、午後6時までだと働いている親には時間が早い。ぜひ延長を。 ・何事も原因をしっかりと掘り下げて取り組まないと改善につながらない。しっかり原因を把握すること。</p> <p>・出生率の向上につながる具体的施策を考えてほしい。独自の方策も考えられるのでは。 →(委員から)牌の取り合いになってしまう部分もある。国全体で取り組むべき課題である。</p>	<p>経常収支比率を下げることでSDGsは関連あるか？ →直接関連はなく、さまざまな施策の積みあげとして持続可能なまちづくりを推進していくというもの。</p>
--	--	---	---